

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	火災出場時、交差点での信号の変り際での消防車と乗用車の衝突危険の発生について
3. 体験した事例の中心的要素	消防車が火災現場に向かう途中、見通しのよい信号機のある交差点で、交差点進入直前に信号が赤に変わり、スピードを落とし徐行しながら進入したが、信号待ちをしていた進行方向右側の乗用車が信号が青に変わったのでそのまま右折しようとしてきて、危うく消防車に衝突しそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	消防車の機関員は、見通しのよい交差点なので、信号待ちをしていた両側の車の運転手が消防車に気づいていたと思い込み、徐行しながら交差点に進入したが、進行方向右側の車の運転手がよそ見をしていて、信号が青の変わったのに気づかず、ふと気づいた時に信号が青になっていたのものでそのまま交差点に進入してきた。

【体験した事例の直接的な原因について】

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

.....

1. 発生日時	平成 20 年 1 月 18 日 午前 11 時頃
2. 発生した当時の天候	雪
3. 発生した活動現場	屋外：国道路上
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故
7. 事例体験時の活動	火災、出動途上 []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1，2回程度体験している。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[54]歳、 勤続年数[32]年、 現場経験年数[32] 年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [機関員]
○当事者 B	年齢[54]歳、 勤続年数[35]年、 現場経験年数[35]年、 階級[消防司令]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [車長]
○当事者 C	年齢[38]歳、 勤続年数[19]年、 現場経験年数[19]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [隊員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	B	信号機が赤に変わったので、機関員に徐行し安全確認 するよう指示する。	
経過 2	A	信号待ちしていた他車が動き出す様子がなかつたの で、徐行し交差点に進入する。	
経過 3	A	右側の乗用車が動き出したので衝突を回避するため、 ブレーキを掛け左側に車を寄せた。	
経過 4			
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。危険事象の対応方法を知っていた。集中力、注意力があった。避難・退避がうまくいった。周囲の視界が確保できていた。現場周辺の地理を知っていた。指揮者が適切に指示した。たまたま、事故にならなかった。その他：直前に他車も消防車に気づき、右に回避した。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

ヒヤリハット発生状況図

